

和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地
国立療養所 奄美和光園
電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230
URL <http://www.nhds.go.jp/~amami/>

平成29年5月1日
(2017)

第105号



■表紙	1	■ふれあい和光塾	10
■患者様の権利	2	■バスレクリエーション	11
■退職者挨拶	3	■作業療法作品紹介	12~13
■新人紹介	4~6	■100歳のお誕生日を祝う会	13
■節分の日	7	■医療安全実践報告会	14
■お花見	8	■NST News Letter	14~15
■第9回奄美観光桜マラソンに参加して	9	■平成28年度診療統計	15
■合同歓迎会開催	9	■人事異動・和光園日誌・編集後記	16

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



瀬戸内町西古見の三連立神

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

患者様の権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。
また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。



退職者挨拶

お世話になりました

平成7年7月に初めて和光園に転勤し、その時に入所者の方、自治会の方々から、いろいろと教えていただいたことが、その後大変役立ちました。それから約20年間（和光園には計3回、8年9ヶ月）ハンセン施設に勤務し、今年定年を迎えることができました。振り返って考えると、私の公務員生活の中で、和光園勤務時が公私ともに最も充実し楽しかった時だと思えます。

これもひとえに、入所者の皆様、これまでに出会った多くの職員の方々の支えがあ

ったからだと思い、深く感謝しております。

これからのセカンドライフは、和光園での思い出を大切な基礎として、健康に留意しつつ、ゆっくりと考えたいと思っております。

皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。ありがとうございました。

給食係長 武藤 俊郎

定年退職にあたって

22年前の入職当時、丁度本館が新しくなった年でもありました。その後病棟、ゆらいの郷（不自由者棟）、朝日寮、若竹寮の改築やあすなろの増築、さくら寮もでき、和光園も新しく変わり、長い年月を感じます。

入所者の方々や諸先輩、職員の方には職業人として、人として多くのことを学ばせ

て頂きました。仕事以外にも舟漕ぎや、教わりながらの菜園は人としての絆を感じ、楽しむことができました。本当に感謝いたしております。最後に皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りしています。

病棟看護師 仲田ノリ江

定年を迎えて

昭和63年10月から入職し早いもので29年の月日が流れ、昨年定年退職後に再任用で病棟配置となりました。入職当時、入所者の方々と高倉で茶話会や談笑をしながらともに過ごした色々な思い出が、懐かしくよみがえります。

個人的にはゲートボールなどを通し入所者の方々と触れ合いながら、励まされ色々

なことを教えて頂き、温かい言葉で今日という日を迎えることが出来、支えられてきたことに感謝しています。長い間本当にお世話になりました。皆様の御健康を心からお祈り申し上げます。

病棟看護助手 吉川 慶子

新人紹介

総看護師長 豊田 恵美 (とよだ えみ)

長崎医療センターから昇任で参りました。出身は熊本です。鹿児島新港からフェリーで、碧い海と夕日を見ながら一晩掛けて奄美大島に着きました。不安でいっぱいだった私を園の皆様は優しい笑顔と温かい言葉で迎え下さいました。本当に感謝感謝です。

今、私は目覚めと同時に優しい鳥の声を聞き、夜は空いっぱいに広がる星に心を癒やされる毎日を送っています。爬虫類や昆虫が大好きな私は、これから待っている自然いっぱいの生活にわくわくしています。

初めてのことで戸惑うこともたくさんあります。皆様のお力を借りながらひとつずつ学んでいきたいと思っています。入所者の皆様が安心して笑顔で生活できますように頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



治療棟 看護師長 赤崎 由紀子 (あかざき ゆきこ)

この度、国立療養所星塚敬愛園から赴任して参りました。7年ぶりに和光園に戻って来ました。再び入所者の皆様のあたたかいお心遣いに触れ、奄美の青い海と青い空をみることができ、うれしく思っています。

治療棟スタッフと協力して入所者お一人おひとりに沿ったやさしい看護・介護を提供できるよう努力していきたいと思ひしておりますのでよろしくお願ひいたします。

ゆらいの郷 看護師 光村 真弓 (みつむら まゆみ)

初めまして。名瀬出身の光村真弓と申します。母に憧れ看護師になりました。東京で10年ほど感染症やHIV看護に携わり、人種差別の歴史が残るアメリカ南部への留学を経て9年前に帰省しました。Uターンして初めて島の自然や文化などすべてに感動し奄美が大好きになり、タラソセラピーや在宅看護を経験し、次の道を模索した時に初めて和光園の存在を意識しました。どのような環境で、看護理念は何かなど知れば知るほど働きたい気持ちが強くなり、この度勤務させて頂くことになりました。

私が生まれる前から過ごしている皆様の人生経験は、想像さえ難しく、簡単に理解出来るものではないと理解しています。人生の先輩方に教えて頂くことばかりかもしれませんが、でもいつか長くお付き合いさせて頂く中で、心と心の交流が出来るようになりたいと思っています。慣れることから時間がかかるかと思いますが、どうか末永くよろしくお願ひいたします。趣味は音楽と英語です！



**ゆらいの郷 看護師 岡崎 さつき (おかざき さつき)**

4月1日付けで入職しました、岡崎さつきです。

出身は名瀬ですが、緑の山、穏やかな海に癒されながら龍郷町久場から通勤しています。趣味は食べる事が大好きで、新しい店がオープンした情報を聞きつけると足を運びますが、学びにはなっておらず、残念な事に料理は苦手です。

前職では約5年間、訪問看護に携わり主に在宅医療を学ばせていただきました。在宅療養ではその方が住み慣れた我が家で大切な物に囲まれながら、穏やかに笑顔で日々の生活を送っていただけるような関わりを大切にしていました。在宅療養を送られている方々は笑顔が多く、自分自身も癒され、学ばせていただいていたように思います。

和光園でも同様に入居者の方々が、日々の生活を笑顔で穏やかに過ごして頂けるようなお手伝いができるよう努めたいと思います。宜しくお願いします。

事務長補佐 岩辻 好夫 (いわつじ よしお)

4月1日付で沖縄県の宮古島にある国立療養所宮古南静園から昇任で参りました事務長補佐の岩辻です。出身は長崎県で、奄美大島での勤務は今回初めてです。これまでハンセン病療養所の勤務は、前任地の宮古南静園の2年間のみです。

早く奄美大島の暮らしに慣れて、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

**会計班長 山口 春成 (やまぐち はるしげ)**

4月1日付で小倉医療センターより異動して参りました山口と申します。出身は福岡県で、3年目の単身赴任となりました。奄美大島は自然豊かで美しく、海もとてもきれい聞いておりますので、少しずつ島を散策したいと思っています。施設整備の面では皆様のお役に立てるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

会計係長 椎原 和史 (しいはら かずふみ)

4月1日付で国立病院機構長崎病院より赴任いたしました。出身は大分県大分市で、趣味は車、バイク、モータースポーツ、音楽・映画鑑賞です。

ハンセン病療養所での勤務は初めてですが、一生懸命頑張りたいと思いますので、ご指導よろしくお願いいたします。

**給食係長 川原 増美 (かわはら ますみ)**

新緑の候、4月1日付をもちまして、奄美和光園勤務を命ぜられこの程着任致しました。

熊本医療センター在職中は公私にわたり格別のご指導とご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。もとより微力ではございますが、給食室勤務に専心努力致しますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

臨床検査技師長 原田 浩邦 (はらだ ひろくに)



この度、4月1日付で別府医療センターより赴任しました検査科の原田浩邦と申します。単身赴任歴も7年目となりましたが、もともと福岡の郡部の育ちで、緑多く自然豊かな土地の方が性に合っていると思っておりますので、当地での生活を楽しみにしております。

昇任で参りましたので技師長としては新米ですが、皆様にご迷惑をかけることのないよう、また当園で実践されている「入所者の方々へ寄り添う医療」に貢献できるよう努めて参りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



庶務係 屋山 莉奈 (おくやま りな)

4月1日より庶務係に採用になりました屋山莉奈です。出身は奄美市名瀬で、趣味は卓球です。和光園に採用になり初めて園内を見学させていただき、畑やテニスコートなどがありとても広い園内に驚きました。まだまだ分からないことや未熟なところもありますが、早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。

また、園内行事等を通して、入所者の方々とゆったりとした楽しい時間を過ごしていけたらと思っております。よろしく申し上げます。

会計係 有村 彩夏 (ありむら あやか)



この度、4月1日付で会計係に採用されました有村と申します。出産後初めての仕事で、育児との両立を目指しながら日々奮闘しています。なにかとご迷惑をお掛けするかと思いますが、一日も早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てよう頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



福祉室 平 正美 (たいら まさみ)

4月より福祉室にて勤務することになりました平正美と申します。名瀬出身で、現在、私の両親と、消防士の主人と、小・中・高校生の息子と安勝町で暮らしています。長男は大学生で、北九州にいますが、四人ともサッカー少年なので、週末をほとんどグラウンドで過ごしている私は、一年中小麦色です。自然豊かな和光園で働けることに感謝しつつ、皆様のお役に立てよう頑張っていこうと思っておりますので、よろしくお願い致します。

栄養管理室(調理師) 東條 きよの (とうじょう きよの)



4月1日より採用になりました東條きよののです。以前も食事を提供する仕事をしていましたが、職場が変わると覚える事が多く、早出も人生でやった事がないので、大変な日々です。1日でも早く、喜んでもらえる食事ができる様に頑張っていきたいと思っております。



節分の日

病棟では、2月2日に節分を行いました。午前中には花見があり、多少疲れた様子ではありましたが、入所者の方は急に鬼が居室に訪室したので、何かとびっくりした様子でした。1日早い『節分の日』であることを説明すると、私達に元気よく楽しそうに豆をまいて、逆にこちらの方があわて

て逃げ腰になるほどの勢いでした。また、来年も皆さんの元気な姿が見られるように続けていきたいと思えます。

病棟看護師 山路 郁美
病棟介護員 作下 志信

ゆらいの郷では、2月7日に節分を行いました。師長が鬼役になり「わーわー」と叫びながら入所者が集まる食堂ホールに現れ、その鬼に向かって、「鬼は一外、福は一内」と、入所者と職員が一丸となって丸めた新聞紙を投げました。今回病棟からも1名参加し、さらにパワーアップした熱気と笑いが、ゆらいの郷中に響きわたりました。

今年一年が不幸や災いがなく、入所者の方々が元気で楽しい一年になるよう、これからも試行錯誤しながら、四季を感じてもらえるようレクリエーションの充実に力をいれていきたいと思えます。



不自由者棟看護師 今里 百合子

奄美にも寒波が押し寄せ、外気も寒く緋寒桜も三分咲きほどの中、治療棟では2月3日の節分の日、一般舎入所者の自宅を訪れ、豆まきを行いました。自宅の中で入所者と介護員4名が豆を握りし

めて待ち構えていると、鬼に扮した師長と介護員1名がそれぞれの自宅に入っていました。すると大きな声で、「誰ねー」「鬼は外においださんば」と笑いながら豆を投げる入所者や嬉しさのあまり笑い泣きされる入所者もいました。少しの間ではありましたが、楽しい時間を過ごすことができました。

治療棟介護員 黒木 貴雄



お花見

平成28年度最後の園行事でありますお花見が2月2日木曜日、午前11時から午後1時にかけて、あすなろホールにて開催されました。緋寒桜がある記念公園高倉前にて開催するか、ぎりぎりまで迷いましたが、気温が思ったほど上がらず、入所者の体調を考慮して、去年に続きあすなろホールにて開催しました。当日は、以前撮った満開の緋寒桜がスクリーンに映し出され、それ



を観賞しながら15名の入所者の参加のもと、お弁当を頼張りつつ、その後余興のカラオケでは入所者の方々が自慢の喉を披露されていました。飛び入りも多くカラオケに参加できない入所者、職員が続出するほど盛大に盛り上がりました。



少しの間ではありましたが春の訪れを感じつつ、とても楽しいひと時を過ごされた事と思います。来年も又、元気で参加されますことを願いつつ、名残惜しむように終了いたしました。



福祉室 有川 清四郎

第9回 奄美観光桜マラソンに参加して

平成29年2月5日(日)、奄美観光桜マラソンに初めて参加しました。コースは15.5kmの花見コース。奄美に赴任するまで5km以上走ったことはありませんでしたが、今まで走ったことのない距離にチャレンジしてみました。

当日は曇りで風が強く、走り出す前は寒かったのですが、走るにつれて汗をかくなり暑くなりました。花見コースはダムの湖畔沿いを走るためアップダウンが激しく、体力的にきつかったのですが、沿道の声援を受けながら無事ゴールすることができました。来年は練習を重ね、ハーフマラソンを走りたいと思います。

翌日、足が痛くて歩きづらかったのは言うまでもありません(泣)。

ゆらいの郷 看護師長 田中 浩二



合同歓迎会開催

平成29年度奄美和光園合同歓迎会が、4月21日(金)17時30分より「あすなるホール」で開催されました。

今年度の歓迎会は、新規採用者8名、転入者7名 計15名を入所者17名、職員42名で歓迎することになり、入所者とともに、和光園全体で歓迎しようとして平成25年度から企画されて5年目になりました。庶務班長による開式の辞後、加納園長による歓迎挨拶に続き、各新人さんの自己紹介及び挨拶がありました。

続いて、事務長による乾杯挨拶後、いよいよ開宴です。テーブルに並んだ郷土料理をはじめビールや名物「黒糖焼酎」でしばらくはおだやかな歓談や会食が続きます。入所者と職員の間はだんだん盛り上がりつつ行きました。

プログラム上「カラオケは必要に応じて」となっていましたが、カラオケ自慢の入所者や職員によるカラオケ、総看護師

長を含めた看護師長団体によるカラオケや踊りなど次から次へと飛び出し、歓迎会の場は、一気に最高潮に達しました。最高潮に達したところで、「島のブルース」に合わせて全員で踊りをし、続いて「和光園歌」を大合唱しました。最後は一本締めで閉宴しました。

転入・採用者のみなさん！和光園の雰囲気は感じてもらえたと思います。奄美は、人々がやさしく、あったかく、自然が美しい良いところです。奄美を満喫してください。

この合同歓迎会が、職員全体が同時に、和光園入所者を見守る場として、続いて行くことを願います。

あらためて、転入・採用者のみなさん！今後の和光園入所者を最後まで見守り、一緒に和光園を盛り上げて行きましょう。

薬剤科長 黒瀬 立稔

ふれあい和光塾



4月15日、週間天気の前報に反して絶好の農作業日和の中、ふれあい和光塾の開講式が行われました。ふれあい和光塾は平成16年度より始まり今年で14年目を迎え、新規2家族を含む計17家族、約60名が参加しました。

開講式の冒頭挨拶では、奄美市教育委員会生涯学習課長より「市民の方と和光園の入所者と親睦を図ってほしい。」との言葉を受けて、八代事務長より「和光園入所者の平均年齢が85.3歳と高齢化がすすんでいる中、和光塾を通して市民に支えられている。そしてハンセン病への正しい理解をお願いしたい。」との言葉を交わしました。その後、各家族の自己紹介へと移り、「土いじりと鳥の鳴き声が楽しみ。」との農作業と自然を愛する声も伺えました。

親子と一緒に楽しみながらナスやトマトの苗を植えている姿は、春の和やかな風景に自然に溶け込んでいるようでした。

ふれあい和光塾は、和光園の年間行事としてすっかり定着しておりますが、これからも市民交流との架け橋としての役割を継続して担っていただけることを切に願っております。

福祉室長 磯部 武嗣



バスレクリエーション

4月27日、朝から小雨模様の天気の中、和光園を9時に出発して目的地へ向かいました。今回の目的地は北大島の土浜で、干潮時を狙った潮干狩りです。ゆらいの郷5名、一般舎1名（入所者計6名）、職員11名の合計17名が参加しました。

バスは和光園を出発して、途中お弁当を買って大熊の漁港を左に見ながら海岸沿いに進んで行き、休憩のため喜瀬の漁港に寄りました。バスから外に出たところ小雨まじりで天気が回復しそうにないため潮干狩りは断念し、目的地を土浜から宇宿漁港へと変更しました。

宇宿漁港に着きバスから降りてみると、風が少し強く吹いていたので、屋根付きの小屋の側面を風除けとしてブルーシートを張ってから、みんな小屋の中でお弁当を食べました。

お弁当をゆっくり食べて団らんした後宇宿漁港を出て、次はあやまる岬へ向かいました。あやまる岬でもなかなか小雨が止まないため笠利の海の景色をバスの



中から眺めることになりました。

天気が一日中回復せず、潮干狩りが出来なかったことは残念でありましたが、入所者と職員と一緒に旅行気分を味わうことができた実のある1日であったと思います。

福祉室長 磯部 武嗣



思い出作り

作業療法作品紹介

昨年より、あすなろ室にて月・火曜日のお昼から作品作りをみんなで頑張っています。是非、鑑賞にいらっしやいませ。

作業療法士 中川 恭兵



作品の紹介

花紙作品

大きな作品は皆で力を合わせて一枚一枚、色花紙を丸めて画用紙に貼り付けて作品にしています。また個別作品では花紙の周囲を貼り絵で彩りました。



習字作品



塗り絵作品



ビーズ細工



七宝焼き



編み物



ペーパークラフト



★100歳のお誕生日を祝う会★

平成29年3月28日、Sさん100歳のお誕生日を祝う会を病棟で行いました。

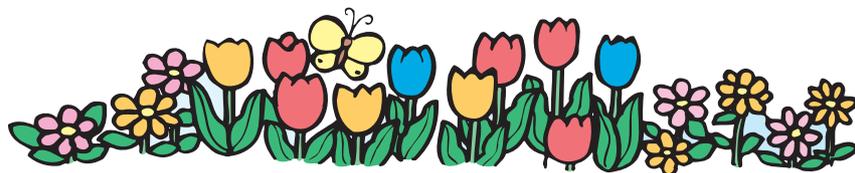
お誕生日を祝う会でSさんは、手作りの模造ケーキを背景に、胸に100歳と書かれた丸いバッジを付け、オルガンでハッピーバースデーの曲が流れ始めると囲んだ職員に笑顔を見せてくれました。

Sさんの生まれ年は大正6年であり、その年の出来事を調べてみると京都・三条～東京・不忍池間23区間（508km）を3日間昼夜を通して行う日本最初の駅伝が開催されたようです。駅伝区間では今のように道路、橋が整備されてなく、木曾川、天竜川は渡し舟で渡ったと伝えられております。

100歳に見えないようなSさんの凛とした姿を拝見しますと、今後の世代間（大正～昭和～平成）の襻（たすき）を我々個人が責任を持ってしっかりと繋いでいかなければという厳粛な思いが沸き起こりました。

末筆となりましたがこの場をお借りしまして、Sさんの100歳お誕生日のお祝い申し上げるとともに表彰状、お祝い金を寄贈していただきました奄美市関係者皆様へ感謝申し上げます。

福祉室長 磯部 武嗣



医療安全実践報告会

平成28年度医療安全実践報告会が、平成29年3月9日(木)13:00~15:30に奄美和光園会議室で開催され、44名の参加がありました。全12部署から、一年間医療安全に関する取り組み実践の報告がされ、質疑応答も活発に行われ、改めて職員個々の安全意識や活動への取り組みの意欲の高さを感じました。

テーマは、5S活動をはじめ、転倒予防、安全な内服管理、安全な食事の提供と声かけ、カルテ管理方法の改善、安全な情報管理など、身近なテーマから入所者の目線に立った細やかな対応まで、興味ある発表でした。参加者からは、「他部署の医療安全に対する取り組みを知る

ことができ、とても参考になった」「ヒヤリハットも気づいたことはどんどん書いて全スタッフと情報共有し、医療安全の向上に努めていきたい」との意見があり、今後の活動に活かして欲しいと願います。

最後に医療安全管理室長である加納園長が、「一年間、医療事故もなく、日頃の職員の努力と入所者への細やかな対応、関わりの成果である」ことを述べられました。今後も、入所者が安全に穏やかに生活できるよう全職員で努力していきたいと思います。

医療安全管理者 後藤 祥子



NST News Letter

No.1

今号から、新コーナー NST News Letter を設けました。NST*の活動などをお伝えしていきます。

いきなりですが、ここで質問です。

ご自身の歯は何本残っていますか？総義歯ですか？

噛む力が弱くなって、硬いものが食べられなくなっていますか？

お茶を飲んでむせたことはありませんか？

薬がのどに引っかかることはありませんか？

高齢だから当たりまえと思いませんか？

確かに、ある程度の老化は避けられないものです。しかし、口腔機能の老化は、低栄養や心身の老化を導きます。

低栄養となると、「創傷の治癒の遅れや悪

化」、「免疫力の低下を引き起こすことによる感染症の増加と悪化」、「筋肉量が減少することによる日常生活動作および生活の質の低下」へとつながります。若い時であれば病気が治ると食欲が増し、自然と体力が回復しますが、高齢者では食欲が戻らないばかりか、食事をするにも疲れてしまい、ますます低栄養に陥ります。

「食が進まない原因」も、食品の硬さが合わない、箸が使いにくい、テーブルとイスの高さが合わない、義歯が合っていない、など挙げればきりがありません。そのためNSTの構成員は医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、作業療法士、歯科衛生士、福祉室長と多職種から成り、それぞれの専門性を生かして原因解決に挑みます。奄美和光園は小さな施設ですが、専門性の高い知識と熟

練した技術を持つ摂食・嚥下障害看護認定看護師（松下）がいます。また、全身状態の管理や治療、各専門職との連携やリーダー役として、医師（馬場）は幅広い知識を求められるため、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の資格を取得しています。

月1回の委員会のほか、選抜メンバーによるNST回診を月2回昼食時に行い、食事内容や食事の姿勢、美味しそうに食べているか、などを評価し、問題点があれば即座に変更や対応を行います。

具体的な例を挙げます。ある入所者は嚥下機能が非常に低下し、通常の食事では固形物も水分もむせ込んでしまうため（問題点①）、ゼリーのように固めたものしか食べることができません（問題点①への対応）。おかずをミキサーにかけて固めたゼリー、飲用水代わりのゼリー、栄養補助のゼリー、食事のたびに何種類ものゼリーが並べられます。エビのてんぷら、ハウレンソウのおひたし、とメニューを聞いても、美味しそうにはとても見えません（問題点②）。

奄美では、旧暦3月3日は「浜おれ」であり、入所者も特別メニューの「浜おれ弁当（写真1）」を楽しみにされています。赤飯、豚骨の煮物、焼き魚、イチゴなど、



写真1

美味しそうに盛り付けされています。今年は嚥下機能が低下した入所者にも、「特別浜おれ弁当（写真2）」が給食から提供されました。



写真2

た。豚骨の煮物は味が混ざらないように肉と野菜を別々に固め、焼き魚は可愛い魚の形に、イチゴはゼリーに（問題点①②への対応）。弁当箱の蓋を開けた時の「わあ！」という感動は、通常のお弁当以上のものがありました。

長くなりましたが、NSTでは入所者の「食べる楽しみ」や、「食べたいという思い」を大切に、熱い思いを胸に活動しています。次号からは、それぞれの専門職によるさらに熱い思いをお伝えする予定です。

NST委員長 馬場 まゆみ

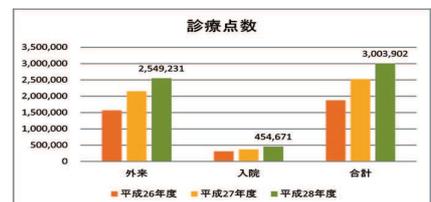
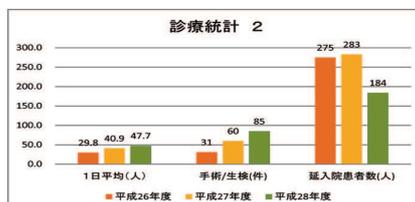
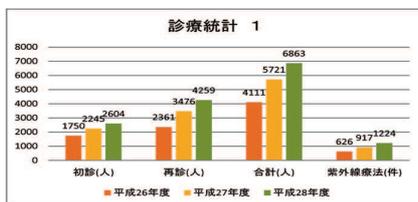
*NSTとは Nutrition Support Team：栄養サポートチームのことで、「低栄養を予防すること」、「口（くち）から食べる楽しみを1日も長く感じていただくこと」を目標に、活動しています。

平成28年度 診療統計

	外来診療			1日平均 (人)	診療実日数 (日)	特記		入院診療		
	初診(人)	再診(人)	合計(人)			紫外線療法 (件)	手術/生検 (件)	入院(人)	退院(人)	延患者数 (人)
4月	207	317	524	43.7	12	106	0	0	2	22
5月	280	369	649	49.9	13	114	4	2	1	21
6月	203	304	507	46.1	11	102	7	0	1	1
7月	263	372	635	52.9	12	126	1	0	0	0
8月	265	392	657	46.9	14	120	8	2	1	48
9月	238	384	622	51.8	12	109	16	3	2	47
10月	216	370	586	53.3	11	95	4	1	3	8
11月	205	369	574	44.2	13	104	7	0	0	0
12月	176	356	532	48.4	11	95	11	4	4	21
1月	173	319	492	44.7	11	88	15	2	2	8
2月	185	338	523	43.6	12	81	5	1	0	5
3月	193	369	562	46.8	12	84	7	0	1	3
合計	2604	4259	6863	47.7	144	1224	85	15	17	184

* 皮膚悪性腫瘍切除術内訳 光線角化症 15件
SCC 4件
未分化癌 1件

学会発表 第176回日本皮膚科学会鹿児島地方会（12月4日）
・Narrow-marginにて切除したBasal Cell Carcinomaの3例
・アトピー性皮膚炎と網膜色素変性症の合併例



診療報酬改定により平成28年度は平均マイナス0.87%改定

人事異動

(平成29年2月1日～平成29年4月30日)

H29. 2. 9	光村 真弓	看護師(臨)	採用
H29. 3. 31	武藤 俊郎	給食係長	定年退職
	榮 勝	車庫長	定年退職
	押川 英子	看護助手	定年退職
	柴 美津子	看護助手	定年退職
	仲田 ノリエ	看護師	定年退職
	松永 葵	看護師(臨)	任期満了
	吉川 慶子	看護助手(再任用)	任期満了
	吉原 由美	総看護師長	NHO宮崎東病院へ
	迫坪 浩	事務長補佐	国立療養所沖縄愛楽園へ
	島田 登志男	庶務班長	NHO長崎医療センターへ
	白倉 克彦	会計係長	国立療養所星塚敬愛園へ
	宮崎 秀喜	臨床検査技師長	国立療養所菊池恵楓園へ
	岩越 はるみ	看護師長	国立療養所宮古南静園へ
H29. 4. 1	豊田 恵美	総看護師長	NHO長崎医療センターより
	岩辻 好夫	事務長補佐	国立療養所宮古南静園より
	山口 春成	会計班長	NHO小倉医療センターより
	椎原 和史	会計係長	NHO長崎病院より
	川原 増美	給食係長	NHO熊本医療センターより
	原田 浩邦	臨床検査技師長	NHO別府医療センターより
	赤崎 由紀子	看護師長	国立療養所星塚敬愛園より
	岡崎 さつき	看護師(臨)	採用
	津久井 美穂	看護助手	採用
	藤田 加穂子	看護助手	採用
	屋山 莉奈	事務助手(期間業務職員)	採用
	有村 彩夏	事務助手(期間業務職員)	採用
	平 正美	事務助手(期間業務職員)	採用
	東條 きよの	調理師(期間業務職員)	採用
	榮 勝	自動車運転手	再任用
	押川 英子	看護助手	再任用
	柴 美津子	看護助手	再任用
H29. 4. 2	松永 葵	看護師(臨)	採用

和光園日誌

(平成29年2月1日～平成29年4月30日)

H29. 2. 2	お花見(あすなるホール)
2. 7	厚生労働省大臣官房会計事務監査指導
3. 2 1	合同送別会サンプラザホテル
4. 3	辞令交付式
4. 6	新採用者オリエンテーション
4. 7	〃
4. 15	ふれあい和光塾開校式
4. 2 1	合同歓迎会(あすなるホール)
4. 2 7	園外レクリエーション(笠利町・土浜)

今後の行事予定

9月14日 敬老会 / 10月14日 ゲートボール大会 / 11月2日 慰霊祭

編集後記

季節も夏となり、暖かくなってきた今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。私事なのですが、娘が小学校へ入学しました。親が幼稚園へ連れて行っている頃は、朝の目覚めから出発まで、あれだけ苦労させられていた娘が、今では親より先に小学校へ出発しています。本当に娘の成長に感動させられてばかりです。私自身も親となって小学生、ピカピカではありませんが和光園では『若いね』と言ってもらえています。私もこの場所で成長し、誰かに元気と感動を与えられるよう頑張っていきます。共に今年の暑い夏も、楽しく元気で乗り越えて活きましょう。

編集委員 中川 恭兵

